

日本学術会議 物理学委員会 IAU 分科会(第 23 期第 8 回)

日時:2017 年 3 月 11 日(土)11:40-12:10

開催場所:東京大学理学部一号館 338 号室

出席者:岡村(委員長)、永原(副委員長)、観山、須藤、山崎(幹事)、山田(幹事)、奥村、面高、海部、梶田、小山、佐々木(スカイプで参加)、佐藤、芝井、中川、林、村山、森

欠席者:生田、國枝、杉山、常田、藤井

オブザーバー:山岡均(国立天文台)、渡部潤一(国立天文台)

0. 前回の議事録について、ご指摘があれば会議中にいただくこととした

## 審議事項

1. CAP2018 の学術会議共催申請について

CAP2018(Conference of Communicating Astronomy with the Public)は2018年3月24-28日に福岡市科学館で行われることになった。この会議に学術会議からの共催を申し込むことが提案(資料2参照)、双方の共催とするための条件を確認の上、申し込みを行なうことが了解された。山岡氏が担当する。

## 報告事項

2. IAU Vice-President 候補者の推薦

前回の分科会の議論に基づき、渡部氏を推薦した。

3. IAU junior member についてのアンケート結果

IAU 執行部からのアンケートについては、分科会としては資料3のようなメール審議により「創設には賛成だが、JM の基準は Post-doc 以上とし、大学院生は含めない」という内容で回答した。

IAU からの途中経過報告によると、賛成多数の状況であり、ウィーン総会で認められる見込み。大学院生の扱いについては各国で事情も異なり、認められる可能性も高い。2017年12月に新JMと通常の新会員の推薦リストを用意、2018年3月まで提出することになる。具体的募集の手続等は5月のIAU執行委員会の後に分科会で議論したい。

4. 2017 Asia-Pacific Regional IAU meeting

7月の3-7日に台北で行われる。締め切りが3月15日まで延長されている。

5. 数学・自然科学研究者におけるジェンダー・ギャップ プロジェクト

IAU は ICSU と共同で、プロジェクトを実施することとなった。ジェンダー・ギャップの問題は学術会議、および日本天文学会でも今後検討・改善すべき重要課題である。

以上